

ナチュラルダンスステアトル 概要

代表の演出家、振付家、舞踊家中村しんじは、ベルギー国立舞踊学校ムードラ(学長:モーリス・ベジャール)を卒業後、ヨーロッパで7年間ダンサーとしての活動を経て帰国。1991年、自らのカンパニー「ナチュラルダンスステアトル」を設立。1998年『ありす』(音楽新聞社「'98私が選んだ邦人作品ベスト3」第1位)、2000年「ピノッキオ」(現代舞踊協会江口隆哉賞)等発表し(新国立劇場)、2006年 芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

振付家、舞踊家の川野眞子は、1991年設立時よりソリストをつとめる他、国内及びアメリカ、カナダ、オランダ、デンマーク、オーストラリア、中国等振付家の創作活動に多数参加し、各国の著名なコンテンポラリーダンサーとの共演も果たす。2005年 自ら公演『さーかす』を振付し、山口情報芸術劇場、新国立劇場、アメリカン・ダンス・フェスティバル(北米)、ドイツ4都市で公演。2003年(財)松山バレエ団芸術奨励賞、2005年 (社)東京新聞社中川鋭之助受賞。

中村、川野のコンビによる想像力の豊かな作品性は世界の中でも高い評価を得ている。2012年 株式会社ナチュラルダンスステアトルを設立。

2010年『東向きに恋をする』(座高円寺2)、2013年『ゼリーフィッシュ』(日暮里d倉庫)、2015年25周年公演として『HITONAMI』(座高円寺2)～いとなみ～、2017年『どぼん』(座高円寺2)を上演し、子供から大人までの幅広い観客を動員した。

ダンスによる教育普及活動、地域貢献への取り組みも強化し、指導員の育成も行っている。

2002～2006年「本物の舞台芸術体験事業」(劇場版)に5年間参加。2005年 新進芸術家公演事業公演。2008・2009年「芸術の魅力発見事業」(一般参加型舞台公演)、2008年～2016年「子どものための優れた舞台芸術体験事業」、「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」、「文化芸術による子供の育成事業」等文化庁事業を受託。